

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ひふみ長野吉田第2教室		
○保護者評価実施期間	令和6年 9月 15日		令和6年 9月 23日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	33	(回答者数) 20
○従業者評価実施期間	令和6年 9月 17日		令和6年 9月 19日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 2月 21日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・充実した活動支援プログラムの構築ができています	5領域を踏まえて、 スタッフの強みを活かしたプログラムを事前に設定し、 子ども達の発達状況に応じた支援を行っています	学校等との連携を図りながら、子どものみならず、保護者様 や関係機関とも情報共有を図り、一貫したサポート体制がで きるようにしていきます
2	・ご家族へのサポート	電話やメール等での相談があった場合には、時間調整を行いな がら、ご家族の思いに寄り添い、一緒に方向性を導き出せるよ うに面談等を行っています。 利用予定日に利用が難しい時には、振替を調整し対応していま す。	親子の時間、親御さん同士の交流や学びの時間を来年度から 計画しているので、ご意見を聞きながら、安心して子育てで きる環境を整えていきます
3	・運動や制作、調理活動を主軸とした療育の実施	屋内でのダンス療育に加え、調理活動や制作活動、さらには地 域の資源(公園や体育館等)を活用した療育を行っています。	動きの多様化やお子さんの発達段階に応じた療育の提供 を行っています。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・身体を動かす療育を行うためにはスペースが十分ではない。	運動遊びを行うには絶対的スペースが十分ではなく、 できる運動の内容も限られている。	運動はダンス療育や小規模な集団遊びに限定して療育効果を 狙います。
2	・地域の施設や住民との交流が十分ではない。	療育プログラムが利用者内部向けに特化されており、地域の住 民と交流する機会が少ない。	今後外部の方たちと一緒にできるような企画を考え、療育 プログラムに落とし込んでいきます。
3	・ほとんどの書類関係を、パソコンなど情報処理機器を使い管 理しているが、得意不得意があり、時には作成に遅延が発生し たりしている。	外部サービスのアプリケーションを使用したり、VBAやマクロ を使用したりして、できるだけ簡単に書類作成や管理業務が行 えるように工夫している。	業務効率化を図ると同時に、その時間を療育関係に充ててい きます。